



## 茨城県の近代化遺産

(建造物等)

### 気象庁地磁気観測所本館 (第一庁舎)

石岡市柿岡595

地磁気観測が柿岡で始まったのは大正2年(1913)で、その後建物群が整えられていった。本館(第一庁舎)は大正14年(1925)に建造されたもの。屋根は洋瓦葺きで棟飾りを施し、外壁は煉瓦造り左官仕上げ。窓にアーチを拵えた左右対称のスペイン風洋風建築。現在も事務室や会議室がある観測所管理棟として利用されている。また、当時は正面玄関から筑波山が真正面に見えるように設計された。

[出典：茨城県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書 茨城県教育委員会刊]

### 主な内容

- ▼ 北関東3県建設業協会の合同会議を開催
- ▼ 4支部が全建から地域貢献活動で表彰
- ▼ 茨城県土木部の防災訓練に参加
- ▼ 時間外労働で茨城労働局と意見交換会

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 小規模ICT土工、イメージアップを推進

## 茨城 群馬 栃木 北関東3県建設業協会が合同会議

茨城県、群馬県、栃木県の建設業協会による第42回合同会議が7月27日、群馬県渋川市伊香保町のホテル木暮で開催されました。議題として本会は小規模土工工事におけるICT活用の推進、建設業のイメージアップへの取り組みを提案。他県協会の状況を聞くなど、地方建設業の課題について意見を交わし、連携して要望活動などを行うことを確認しました。



石津茨城県会長



青柳群馬県会長



谷黒栃木県会長



北関東3県協会が抱える課題の解決へ意見を交換しました

開催県である群馬県建協の青柳剛会長は「新型コロナの対応が変わり経済が動き出したが、地域・業種ごとの状況も浮き彫りとなった。こうした時こそ、まとめて地方建設業本来の役割を発信していかなければならない」と訴えました。

栃木県建協の谷黒克守会長は「地域建設業が抱える諸課題などの改善が図られ、3県の連携強化となる有意義な会議となれば」とあいさつ。

本会の石津会長は「働き方改革など大きな視点で解決しなければならないのは同じ。解決へ向けた糸口が見つかれば」と述べました。

会議には来賓として群馬県の山本一太知事、後藤剛建設企画課長、村上誠契約検査課長、国土交通省高崎河川国道事務所の青木崇光所長が出席。

意見交換では本会から、昨年度の県の小規模土工でICTを活用した事例が1工事に留まっており、普及の取り組みを質問。各県が普及への取

り組みを紹介しました。

また建設業のイメージアップ活動について、本会では会員企業を紹介するガイドブックの作成、建設業広報ステッカーの作成、県アイバンクと協力協定締結などを紹介。特別支援学校の生徒と特定外来生物の駆除作業を行ったことも報告しました。他県協会もさまざまな活動を展開していることを紹介しました。



その他の県協会が持ち寄った議題は次の通り。

### 【栃木県建設業協会】

- ・総合評価落札方式における賃上げ実施企業への加点措置の課題と今後の対応
- ・総合評価方式等における実績評価のあり方

### 【群馬県建設業協会】

- ・2024年4月からの時間外労働時間の上限規制
- ・建設キャリアアップシステムの推進

## 水戸支部、土浦支部、常総支部、境支部 全建から社会貢献活動で表彰

全国建設業協会（全建）による令和5年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事が7月26日に都内の経団連会館で開かれ、本会の水戸支部、土浦支部、常総支部、境支部が社会貢献・SDGs功労者（防疫活動）として表彰されました。



水戸支部の下田支部長



常総支部の中川原支部長



土浦支部の小林支部長



境支部の新井支部長

昨年11月から県内各地で相次いで発生した高病原性鳥インフルエンザとCSF（豚熱）において、各支部が中心となって防疫活動に尽力したことが高く評価されました。

表彰式には、水戸支部の下田德行支部長、土浦支部の小林伸行支部長、常総支部の中川原勇支部長、境支部の新井孝支部長が出席。表彰状を受け取りました。

そのほか本会は「地域の守り手としての防疫・鳥インフルエンザおよび豚熱への対応」の取り組み

みを発表しました。

水戸支部は、笠間市と城里町で鳥インフルエンザの防疫作業に24時間3交代で従事。

土浦支部は、かすみがうら市で発生した鳥インフルエンザ、豚熱の防疫活動に取り組みました。

常総支部は、かすみがうら市、城里町、八千代町、坂東市で立て続けに発生した鳥インフルエンザの防疫作業に昼夜問わずに対応。

境支部は、坂東市で発生した115万羽規模の防疫作業に24時間3交代で従事しました。

## 意識高め適切対応を

時間外労働で労働局と意見交換



本会は7月24日、来年4月から適用される建設業の時間外労働の上限規制について、茨城労働局労働基準部との意見交換会を水戸市の協会本部で開催。上限規制の内容の説明を受け、意識を高めました。意見交換会には正副会長、支部長、常設委員会委員長などが出席。あいさつで石津健光会長は、協会として働き方改革に取り組んでいることを紹介。「『民間工事でも週休2日が当たり前』と認知されるよう働きかけを」と訴えました。

## 労働環境改善へ勉強会

経営企画委員会を開催



経営企画委員会（鶴田哲男委員長）は8月3日、建設業における働き方改革の勉強会を水戸市の協会本部で開催。来年4月から時間外労働の上限規制が適用されることに対応するため、労働時間や割増賃金などを研修し、労働環境の改善へ優先順位を決めて実行することを研修しました。鶴田委員長は「労務の専門家から貴重なお話しをうかがうことができる。しっかりと学んでいただきたい」とあいさつしました。

## 現場パトロールなど実施

県の防災訓練に参加



本会は8月2日、茨城県土木部が実施した本年度の防災訓練に参加しました。本会では災害協定に基づき県内の道路や河川などのパトロールを実施し、被災箇所情報を県と共有しました。県土木部では各出先機関と連携し豪雨災害発生を想定した実動訓練を全所属（本庁13課、出先16事務所）で実施し、災害時の役割確認や課題の抽出などを行いました。

## ICTや総合評価研修

建設産業育成支援セミナー



本会は6月30日、日本建設情報技術センターと共に建設産業育成支援セミナーを水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。県の土木工事書類標準化ガイドやICT活用工事、総合評価落札方式などを研修しました。優良工事紹介では、令和4年度のチャレンジいばらき知事特別賞「DX賞」を受賞した(株)仲川建設（筑西支部）の仲川将大専務取締役が自社の取り組みを発表しました。

# 支部活動報告

## 水戸支部

### 電子小黒板など建設DX研修



水戸支部（下田德行支部長）は7月31日、茨城県水戸土木事務所（石川昭所長）と建設DXの利活用と生産性向上に関するセミナーを県水戸合同庁舎で開催。電子小黒板や遠隔臨場の活用を研修し、ICT施工現場端末アプリなどの実機体験も行いました。下田支部長は「しっかり学び、会社に持ち帰って皆に伝えてほしい」と望みました。

## 太田支部

### 創立75周年記念し安全大会



太田支部（瀬谷實支部長）は7月12日、支部創立75周年を記念し、第1回災害ゼロ推進安全大会をパーティールーム（常陸太田市民交流センター）で開催。支部員ら約100人が出席し、労働災害ゼロを目標に掲げ、参加者全員で意識高揚を図りました。瀬谷支部長は「安全大会を機に、無事故無災害を基本として工事を進めてまいりたい」と、支部員にさらなる協力を求めました。

## 太田支部

### 献血活動に114人が協力



太田支部（瀬谷實支部長）は7月5日、常陸太田市建設防災協議会（根本敬久会長）と共に献血活動を常陸太田合同庁舎で実施。支部会員や協議会員など114人が協力しました。献血活動は平成25年から毎年継続し、今回が12回目。瀬谷支部長は「建設業団体の奉仕活動として地域に役立ちたい活動している」と話しています。

## 常総支部

### 女性職員が研修視察



常総支部（中川原勇支部長）は7月11日、女性職員の研修視察として国会議事堂や文部科学省を訪問しました。国会議事堂では衆議院議場をはじめ、議長応接室、委員会室を見学。文部科学省も訪れ、永岡桂子文部科学大臣と面談。永岡大臣は会員に対し、普段の公務の内容などについて説明し、全員で記念撮影を行いました。

● 3支部が県と意見交換 ●

常陸大宮支部



常陸大宮支部（高野潔支部長）は7月27日、茨城県常陸大宮土木事務所（柳岡隆所長）との意見交換会を同事務所で開催。働き方改革や情報共有システム、ICT技術の活用などをテーマに議論を交わしました。高野支部長は「働き方改革や労働環境の改善を進めている。意見交換が会員にとって一歩でも前進できる場に」と述べました。

高萩支部



高萩支部（秋山光伯支部長）は7月25日、茨城県高萩工事事務所（長山公信所長）との意見交換会を支部会館で開催。担い手の育成・確保、最新技術の活用、工事事務所の防止などについて話し合いました。秋山支部長は「災害などの厳しい自然環境に対応していく必要がある。また週休2日制など働き方改革の推進により、若い力を業界に取り入れていきたい」とあいさつしました。

潮来支部



潮来支部（松崎里志支部長）は7月12日、建設未来協議会と共に茨城県潮来土木事務所や鹿島港湾事務所など管内の県出先機関との意見交換会を開催。働き方改革やICT活用、工事事務所防止などで意見を交わしました。松崎支部長は「働き方改革に早急に取り組む必要がある。また減災防災に役立つことができれば」とあいさつしました。

● 事故防止へ安全講習会 ●

竜ヶ崎支部

除草工事対象に講習



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は7月10日、茨城県竜ヶ崎工事事務所（野島泰久所長）と除草工事の受注者を対象に安全講習会を開催。約40人が参加し、現場での労働災害防止対策や県内の事故発生事例などを学び、安全への意識を高めました。野島所長は「講習を通じて、安全への取り組みを考える機会に」と呼び掛けました。

竜ヶ崎支部

労災防止へ安全講習会



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は7月12日、茨城県竜ヶ崎工事事務所（野島泰久所長）と公共工事の安全講習会を開催。労災防止への取り組みや事故事例などを学びました。災害時の情報共有のスマホアプリ「Webex」の利用方法も研修。細谷支部長は「業界発展のためにも労災事故防止に取り組む意義は大きい」とあいさつしました。

境支部

日頃の完全管理が大切



境支部（新井孝支部長）は7月12日、茨城県境工事事務所（埴広実所長）と安全衛生講習会を開催。境工事事務所による「無事故八策」や盗難防止対策などについて研修しました。新井支部長は「建設業者は災害時にいち早く駆け付け、地域に安心安全を届けている。日頃から安全管理に努めていかなければならない」とあいさつしました。

## 時間外労働、資源有効利用促進法など 制度改正で各支部が説明会

建設業への時間外労働の上限規制の導入や資源有効利用促進法の省令改正、インボイス関係の制度改正などに対応するため、各支部が会員向けの説明会を順次開催。各支部長が制度への理解促進を促すとともに、参加者は制度の内容や対応すべきことを研修しました。

時間外労働の上限規制は来年4月から適用されます。講習会では、社会保険労務士から制度の概要や対応しなくてはならない事項などを研修。

資源有効利用促進法の省令改正(本年5月)では、建設発生土を扱う工事では搬出先の明確化などの新たな手続きが必要となりました。本年1月施行の再生資源利用促進計画書(COBRIS)の作成・保存もあるため、茨城県土木部検査指導課の担当者から、必要な手続きを解説してもらいました。

そのほか、労働基準法・インボイス制度・電子帳簿保存法、IT導入への補助金についての研修を行った支部もありました。



時間外労働の上限規制を研修(鉾田支部)



資源有効利用促進法の省令改正を研修(水戸支部)



インボイス制度も研修(土浦支部)

## 猛暑下での現場休工 県が柔軟な対応を通知

茨城県土木部検査指導課より、熱中症の危険性が増大する猛暑日に現場休工の判断が適切に行われるよう、土木部発注機関に対して通知がありました。具体的には現場休工の取り扱い、柔軟な工期延長対応、真夏日に対応した適切な経費補正

について。熱中症警戒アラートの発表や暑さ指数(WBGT)が31を超えるとき又はそれが予測される時、受注者は現場作業を見合わせ、現場休工を判断することができます。熱中症予防に気を配り、安全な施工を進めていきましょう。

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災  
補償制度

**建設共済保険**

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル **0120 - 913 - 931**

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

## 建設未来協議会 砂場クリーン作戦を開催



大きな重機に子どもたちは大喜び

建設未来協議会（鈴木達二会長）は7月12日、教育環境を整備する地域貢献活動として「砂場クリーン作戦」を土浦市の白帆幼稚園（菊池良平園長）で実施しました。参加した園児が砂場の清掃活動や重機操作などを楽しく体験。建設業の役割やカッコよさを伝える活動になりました。

砂場クリーン作戦は8回目。園児たちは「楽しかった」「またやりたい」と笑顔で話しました。

鈴木会長は「砂場清掃から始まった活動も内容が充実してきている。地域貢献活動を続け、建設業の役割や魅力を伝えていく」としています。

## 図画で建設現場PR 広告優秀企画賞を受賞



本会が昨年度に茨城新聞に掲載した広告「建設現場を描いた図画コンクール」が、第30回茨城新聞広告賞の優秀企画賞を受賞しました。県内の小中学生が建設現場を描いた図画のコンクール優秀作品55点を紹介。読者の目を引き、ビジュアルとしても印象に残ったことなどが評価されました。

## 本会が2級土木一次講習を支援 水戸工業高校生が全員合格



全員合格を祝って集合写真

本会が2級土木施工管理技士の第一次検定試験の受検対策講習を支援した茨城県立水戸工業高校の土木科3年生の38人全員が、令和5年度前期試験に合格しました。生徒は「将来につながる資格が取れて良かった。資格を生かして仕事ができたら」と話しています。前期試験の合格率は42.9%。高校生の合格率は全体の4.2%です。

## 建設フェスタ 2023 10月7日(土)に通常開催

「建設フェスタ 2023」実行委員会（委員長＝鈴木達二建設未来協議会会長）が7月6日に開かれ、4年ぶりに通常規模となる「建設フェスタ 2023」を10月7日（土）に笠松運動公園（ひたちなか市）第6駐車場および屋内水泳プール西側特設会場で開催することを決定しました。

開催に向け、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

## 会員の動向

〈社名・代表者変更〉

▽土浦支部  
 (株)カタオカエンジニアリング  
 → (株)鹿島テクノス土浦支店

支店長 内芝良吉